

情報処理概論

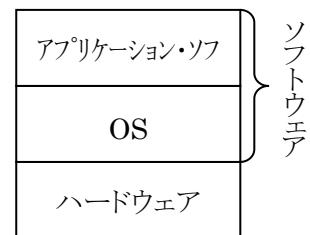
コンピュータの基本原理

- コンピュータはプログラムに従って動作する。
- プログラム
- ソフトウェア
- ハードウェア

IBM PC/AT互換機 (DOS/V機、以下PC)

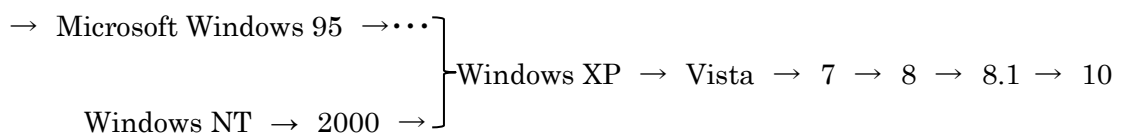
オペレーティング・システム(OS)

コンピュータはプログラムに従って動作すると言ったが、ワープロや表計算といったソフトウェア(アプリケーション・ソフト)を直接ハードウェア上で動かすのではなく、まず、基本ソフト(オペレーティング・システム、OS)が動作し、その上でアプリケーション・ソフトを動かすという使い方をする。



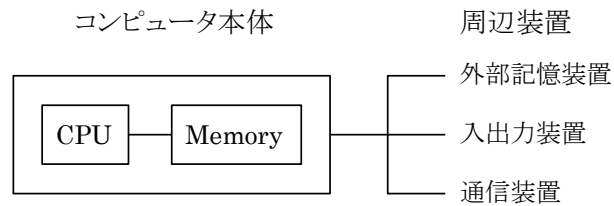
- PCで主に使われているOSの系譜

MS-DOS (Microsoft Disc Operating System)



- PCのその他のOS : Linux 等
- MacintoshのOS : Mac-OS
- WS (Work Station) とそのOS UNIX

コンピュータ(ハードウェア)の基本構成



- CPU(Central Processing Unit、中央処理装置)

- Memory(内部メモリ、内部記憶装置、主記憶、1次記憶)

- 入出力装置

情報の入力、出力

モニタ(ディスプレイ)、キーボード、ポインティング デバイス(マウス)、プリンタ、スキャナ(画像読取装置)、音声出力装置など

- 通信装置

ネットワークとの接続

NIC(Network Interface Card)、無線LANアダプター

- 外部記憶装置

情報(プログラムやデータ)を保存

内部メモリに記憶された情報は、処理が終わると消えてしまう

⇒ 情報を保存しておくためには外部記憶装置に入れておく

ハードディスク(HD)、SSD(半導体ディスクorドライブ)、
CD、DVD、USB(フラッシュ)メモリ、SDメモリカードなど